

TAKE
FREE
第13号
2019年2月

神宮前 二丁目 新聞

じん に
神二で暮らす、働く、遊ぶ。
地元メンバーが届ける、
超地域限定フリーマガジン。



「神二でロングインタビューvol.1」

生まれ育った 商店街を支える 原電ビルオーナー

佐藤正記さん

神二にある千原公園のななめ向かい、
1階に「美容室Ozaka」が入っている「原電ビル」をご存知だろうか。
オーナーは、「神宮前二丁目商和会」の会長を
通算16年務めた佐藤正記さん。
神二で生まれ育ち、商店街の活動を支えてきた佐藤さんのお話を聞いた。

文＝上野絵美 撮影＝沢辺均

佐藤正記さん
さとう・まさき／1954年生まれ。原電ビル（神宮前2-19-10）オーナー。2017年まで通算16年、神宮前二丁目商和会会長を務める。写真は風邪で病み上がりの佐藤さんを引っ張り出し、寒空のもと撮影。

「^{じん}神二」ではなく「^{はらさん}原三」だった

リレー形式のインタビューやバンダマウスの家づくりなどなど、これまでたくさんの方の協力のもと誌面を作ってきた神宮前二丁目新聞編集部。しかし、ある日の企画会議で「初心に帰って“神二のキーパーソンへのロングインタビュー”というシンプルな企画をやってはどうか」という話になった。第1回目のインタビューは、2年前まで神宮前二丁目商和会の会長を務めていた佐藤正記さんをお願いしてみよう。今では100近くの商店・事務所が加盟している商店会で、編集部も神二新聞の創刊時から何かとお世話になっているのだ。

佐藤さんに取材申し込みのLINEをしたところ（商和会の役員さんたちはLINEをご愛用）、かわいいスタンプとともにさっそく快諾の返事が届いた。

生まれも育ちの神二の佐藤さんは、東郷幼稚園、千駄谷小学校、原宿中学校（統廃合のため現在は原宿外苑中学校）出身。実家の原電ビルでは、1階でご両親が電機店を営んでいた。その名も「原宿電機」。

「この辺の住所は今では神宮前二丁目だけど、当時は原宿三丁目だったんだよ。だから店の名前は『原宿電機』。ビル名の『原電ビル』はここからつけたんだ」と佐藤さん。だが佐

住所▶神宮前2-20-13 電話番号▶03-3408-1350

神宮前二丁目で 暮らす動物

1号から今号まで、40匹以上に登場してもらったこのコーナー。
「うちのペット、新聞に載せてもいいよ」というかた、
編集部へのご連絡をお待ちしています！

私の飼い主こんな人

学校がお休みの日、よくお世話をしてくれる星蘭。だけど名前はつけてくれなくて、私のことは「赤いの」とか「金魚」とかって呼んでいるわ。



私の飼い主こんな人

星蘭はいつも、水槽の上の電気を点けてからエサをくれます。私は電気が点く前からパクパクしてしまうので、すごく食いしん坊だと思われるようです。



赤いの (左)

- 年齢…3歳 ●体長…7.5cm
- 種類…和金

黒いの (右)

- 年齢…3歳 ●体長…8cm
- 種類…出目金

飼い主…藤田星蘭ちゃん

ふくじろうくん

- 年齢…3歳
- 体重…6kg
- 種類…ポメラニアン
- 飼い主…石井梓椰乃ちゃん



僕の飼い主こんな人

梓椰乃のママが、神二の保護犬シェルター「ティア・ハイム・コクア」で僕を引き取ってくれてもうすぐ3年。当時は赤ちゃんだった梓椰乃は2歳になって、一緒に散歩をしたり、家の中で鬼ごっこをしたりできるようになったんだ。いやあ〜、成長を感じるなあ。

僕の飼い主こんな人

ペットショップにいた当時、チワワにもいじめられていた僕の「しょぼーんとした感じ」に、母さんと父さんは一目惚れしたんだって。母さんは昔から犬アレルギーなんだけど、不思議と僕のことは平気なので、何だか運命的なものを感じるなあ。



アントニオくん

- 年齢…8歳 ●体重…10.5kg
- 種類…アメリカン
- コッカースパニエル
- 飼い主…井坂元子さん、牧生さん



ハートちゃん (上)

●年齢…12歳 ●体重…4.7kg
●種類…シーズー

りりちゃん (下)

●年齢…16歳 ●体重…5.8kg
●種類…シーズー

●飼い主…江口律香さん

私の飼い主こんな人

隣にいるハートは私の子ども。リーダーさんから「りりはおとなしくて性格がいいから、子どもを残したほうがいいよ」と律香さんが薦められたのだと言ってたわ。「いい子を産んでくれた」とほめられるけど、ちょっと照れくさいわねえ。

私の飼い主こんな人

「Pabaが来てからシークが元気になった」と喜んでくれる美枝子さん。でも、彼女こそPabaの散歩で体力がついてさらに元気になったわよ。

シークちゃん (上)

●年齢…14歳 ●体重…18kg
●種類…ラブラドル・レトリバー

Pabaちゃん (下)

●年齢…8歳 ●体重…21kg
●種類…オーストラリアン・ラブラドゥードル

●飼い主…渡邊美枝子さん

私の飼い主こんな人

もともとは良一さんの甥っ子に飼われていたのですが、彼が一人暮らしを始めるにあたり、良一さんが引き取ってくれました。「いっぱい食べるのに大きくならないね…」と言いながらも、私の好物のレタスをいつも用意してくれています。

カメ子さん

●年齢…20歳
●種類…リクガメ
●飼い主…大友良一さん

私の飼い主こんな人

美枝子母さんとの出会いは4年前。先住犬のシーク姉さんが一本筋の通ったかただから、穏やかな性格の私を選んだんですって。妹分になれて光栄だわ。

神二の店探訪

神宮前はなれ

Jingumae Hanare



左／店内はカウンター9席に個室が2部屋。予算に合わせたメニューの相談も可能

上／1年のうち2カ月ほどしか味わえない海の幸「セコガニ」。すっきりとした冷酒がよく合う(写真提供＝神宮前はなれ)

下／取材当日、石井さんが出してくれたお造りと「楽器正宗」の冷酒

「熱燗は飲みづらい」はただの思い込みだったなんて

文・撮影＝松村小悠夏

日本酒は好きだが、熱燗やぬる燗の酒臭さが苦手な私。味の違いもよく分からず、常に冷酒をメニューの上から順に頼むため、周りから「飲ませがいのない奴」と言われてきた。昨年末、神二に日本料理店「神宮前はなれ」ができた聞き、ではそんな私におすすめの日本酒を教えてくださいと店に向かった。

「熱燗が苦手な人は多いですね」と言いながら店主の石井さんが出してくれたのは、おちょこに入った冷酒。辛口で、目が覚めるような鋭さだ。「じゃ、次にこちらのぬる燗もどうぞ」。恐る恐る口に含むと、まろやかですっきりした口当たり。酒臭さも全くない。「私、ぬる燗のお酒のほうが好きです!」と言うと、「実は両方とも同じお酒。熱を加えただけです」と笑う石井さん。

「冷酒だと香りがきつく感じるお酒は、熱を加えると角が取れてスイスイ飲めるようになる。でも、熱燗に向かないお酒に熱を加えると、バランスが崩れて酒臭くなります。さらに料理との相性もあるから、おすすめのお酒は店の人間にそのつど聞くのが一番です」

「神宮前はなれ」は昨年12月4日にオープ

松の司 生酛純米酒
石井さんが「ぬる燗」
のおいさを教えてく
れた酒。熱を加えると
まろやかな口あたりに。



ンしたばかり。しかし石井さんは神二の街に対して、自分が生まれ育った足立区に近い下町のような親しみやすさを感じているという。「週末、『はなれ』の前に野菜直売のトラックが来るんです。野菜を買っていたら、隣にいたおばちゃんが『野菜が好きならこれどうぞ。私が漬けたのよ』って家からぬか漬けを持って来てくれて。あまりにおいしいので、店でサービスで出したらお客さんに好評でした」。そんな神二の人達とのつながりを大事にしながら店を続けていきたい、と話してくれた。

「日本料理というと敷居が高く感じるかもしれませんが、僕もお酒をちょいちょい飲みながらお客さんとお喋りする、居酒屋みたいな店です。足立区のノリでやってますよ」

SHOP DATA

神宮前はなれ

営業時間▶18:00～23:00 定休日▶日

住所▶神宮前2-13-5 第六渡辺ビル地下1階

電話番号▶03-6804-5708 【▶お店の地図は裏表紙へ】

千駄谷 バスケットボール クラブ

SENDAGAYA Basketball Club

渋谷区の強豪チームが神二の隣に!

1月のとある水曜日の夕方。寒風が吹く中、神二のおとなりにある千駄谷小学校の体育館をのぞくと、子どもたちのにぎやかな声と共にバスケットボールのドリブル音、シュート音が聞こえてきた。今年で創立25年目を迎えるミニバスチーム・千駄谷バスケットボールクラブだ。メンバーは、千駄谷小学校の児童のほか、なんと渋谷区内外の12の小学校から集まっている。保護者が中心となって運営し、大会や練習試合に積極的に参加しているそう。

実はこのクラブ、渋谷区にあるミニバスクラブがトーナメント形式で対戦する「渋谷区区民大会」の優勝常連チーム。取材でおじゃました日は、都の公式試合に加え、2月に開



2018年2月に行われた渋谷区区民大会では、男子Aチーム、女子Bチーム（5年生以下）が優勝、女子Aチームが準優勝した。

写真提供=千駄谷バスケットボールクラブ



練習着の袖にプリントされた星マークは、渋谷区区民大会で優勝した回数。



催される区民大会を控え、試合形式の練習が中心だった。区民大会は6年生最後の大会であり、「男子Aチームは3連覇がかかっている」と、男子チームキャプテンの大門くんも意気込んでいた。決勝は2月10日だそう。

体育館の壁には、クラブのスローガンが掲げられている。「素直な心、謙虚な態度、感謝の気持ち」。これに加えて、男子チームの目標は「弱い気持ちに打ち勝つ」。接戦の末、僅差で逆転負けを喫したことがあり、メンバーたちで考えた目標だ。

監督は怖い？

クラブの監督を務めるのは、神二にある写真店「フジタフォート」の店主・藤田和也さん。学生時代はバレー部だったが、監督を始めてからバスケの勉強に精を出したという。そんな藤田監督、子どもたちがミスをすると「何やってるんだー!!」「そんなパスでいいの!?!」と大声を上げる。お、鬼コーチ!? 「ねえねえ、監督って怖くない? 監督には秘密にしとくから、ぶっちゃけどうよ?」と6年生の男子数人に尋ねたところ、意外にも「怖くないよ」とい

う答えが返ってきた。「いいプレイをしたらちゃんとはめてくれるし、ミスをしたときは何が悪かったかきちんと教えてくれるから、監督は優しい」とのこと。選手と監督の信頼関係は厚いようだ。

「勝つうれしさも負ける悔しさも感じてほしいからよくハッパをかけるけど、本当に大切なのは勝ち負けじゃない。バスケの楽しさと厳しさを感じながら、礼儀や協調性を身につけてほしい」と藤田監督。保護者からは、「上級生たちは面倒みがよく、厳しくも優しく教えてくれた。わが子が上級生になってか

DATA

千駄谷バスケットボールクラブ

部員数計55人。練習は水、土、日・祝日。月謝は参加する曜日に応じて異なる。1年生から入部可能。見学・体験入部はいつでも歓迎!

練習場所 ▶ 千駄谷小学校 (千駄ヶ谷2-4-1)

Web ▶ <http://sendagayabc.web.fc2.com>

藤田監督

部員
募集中!



練習開始前。円陣を組み、「今日の練習で気をつけたいこと」を発表する子も。



シュート練習中。みんなのバッシュがかっこいい!

取材をした編集部上野 (バスケ経験者)、男子の貫禄漂うプレーにびっくり。さすが優勝常連チーム!



高学年女子の試合後、監督からのダメ出しとアドバイスタイム。

体育館の半面を使って3対3のミニゲームをする低学年のメンバーたち。



神宮前二丁目新聞を一緒に作りませんか？

神宮前二丁目で暮らす人・
働く人・遊ぶ人なら誰でもOK!

情報提供・企画参加

「回覧板」への掲載

「服譲ります」「期間限定メニュー始めました」など神二の人に知らせたいことをご応募ください。掲載料は無料です。

●「回覧板」今後の発行予定

2/20(水) 発行号 ▶ 応募締切は2/3(日)

3/20(水) 発行号 ▶ 応募締切は3/3(日)

インタビューコーナーの

登場者募集

ご自身の半生や、神二の街との関わりを語ってくれる方を募集中。「この人に話を聞くとおもしろいと思う」という他薦もお待ちしています!

占い師のかたいませんか

神二新聞をつくるたび、スタッフが体調不良に見舞われる編集部。運氣アップのコツを教えてください占い師のかたいませんか?

店頭配布

神宮前二丁目新聞を置いてもらえるお店を募集中。希望のかたには写真の配布スタンドもお渡しします。



次号のお知らせ

「神宮前二丁目新聞」第14号は
2019年4月20日(土)に発行予定です!

応募先

電話 ▶ 03-3478-1774

メール ▶ jin2shinbun@pot.co.jp

WEBサイトに応募フォームを設けています

神宮前二丁目新聞 検索

FAX ▶ 03-3402-5558

WEB ▶ http://jin2news.net

トップ▶応募



編集後記

p10に掲載した「神宮前はなれ」の店内にある右写真の機械。これは蕎麦麦粉の製粉機で、毎朝店主の石井さんが蕎麦の実から粉を挽き、手打ちで蕎麦を作る。取材後、「お昼ご飯まだでしょ? 食べてってくださいよ!」とのお言葉に甘えることに。打ち立ての蕎麦とお造りと、1合の日本酒。思いがけない贅沢で満たされたおなかを抱えて店を後にしたのだった。(松村)



神宮前二丁目新聞 第13号

2019年2月4日発行 8,000部 両面4Cマットコート90kg

発行 ▶ ポット出版 表紙イラスト ▶ 市村ゆり

制作協力 ▶ 認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ

問い合わせ先 電話 ▶ 03-3478-1774

住所 ▶ 神宮前2-33-18 ビラ・セレーナ303号室

メールアドレス ▶ jin2shinbun@pot.co.jp Web ▶ http://jin2news.net/

MAP 誌面に登場したお店・会社

● 千駄谷小学校(p12)

ヤマザキショップ原宿店(p5)

クリーニングシマダ(p5)

● 神宮前はなれ(p10)

セブンイレブン●

● フジタ
フォート(p5)

● ポット出版
(p5・編集部)

● 千原公園

● 原電ビル(p2)

● 渋谷神宮前郵便局

明治通り

外苑西通り

● 熊野神社

100m